

今夜7時から みんなで つくろう みんなの 会館
 市民館3階 三人よれば何とかの知恵
 毎週金曜日

夜間学校

西成区萩之原屋2-5-23
 釜崎解放会館内釜日労働組合
 632-4273 会付
 釜崎夜間学校

在日朝鮮・韓国人の
 指紋押なつて否 断固支持！
 定住外国人に市民権を！！

労働組合とは……その8

組合員は何をする人？ 何分の一かを支える大切さ

数多くの人が夫出し、数多くの現場、様々な飯場、一見、多様なように見えるが、労働力（肉体と精神の力）を提供し、賃金を得て生活する日雇い、というところは違いがなく、そこを基盤として成り立っているのが釜崎の労働組合である。

しかし、釜の日雇い労働者二万人、の割には組合員の数は少ない。

それについては、仲間の中に、次のような考えがあるのではないかと思う。

「組合という組織の中に、形式的に加入しなくても、賃上げや飯場闘争の呼びかけがあった時に、その闘争に参加すれば充分なのではないか。」

それに、組合に入るといっても、組合員が何をする役割を持っているかよく知らない。

らないし、どこまで俺には大したことはできないだろうから……

確かに、春闘や越冬闘争、飯場闘争は毎日あるわけではなく、組合員になったからといって、すぐ組合の仕事へ日常的な労働相談などが任せられるわけではない。

だから、いったん事ある時に参加すれば、それでよい、ということになるだろうか。

組合の側にも、もちろん問題があると思う。

闘争以外の、日常生活の中で、組合員としてのつながりをつくって行こうという努力が、まだまだ足りない。

例えば、釣大会、ハイキング、定例学習会、などの集まりづくりがもつてなされるべきだと思う。

そして、現在の組合員は無意味な人間（？）が多く、そういった段取りはやりすぎず、新しい組合員の登場を願っている、というところもあり、ニワトリが先か卵が先かによく似ている。様々なことを手掛けるには資金が必要というところも、ニワトリと卵の関係だ。

共通の利害と労働組合、そして・・・

労働組合とはVのシリーズも教えて七回目。前回は、釜の組合と他の組合とのちがいをから組合費の問題までさまざまに話し合いました。

たけどあの時は八百人くらいも集ったもんや。

「ふつうの会社なんかの組合やったら雇い主がいつしよ毎日同じ職場で顔を合わせる、いうことあるけど釜の場合はみんなバラバラや。」

「もっと人が集まるような取り組みをせなあかんと思うわ。いろいろ手はあると思う。」

「たとえば組合員になったらバツを配るとか、飯場に行ってもバツを見たら親近感をもつしええと思う。」

「たええ組合員になったらバツを配るとか、飯場に行ってもバツを見たら親近感をもつしええと思う。」

「共通の利害はあると思うんやけどなかなか意識としては定着しにくいな。闘う相手もいろいろやし、条件もバラバラやし。」

「一時釜日労も組合費を納めた人に組合員証を出してたけどいろいろあってやめにしてる。」

「人集まるということとは組合費が集まるということや。組合費が集まるということや。」

「前に金港港にあったけど、組合費を払ってないと発言しはく」ということはあるない。

「三六年の第一次暴動の後に全日自労連が崩れ去ったのが出来

「三六年の第一次暴動の後に全日自労連が崩れ去ったのが出来

「いろんな相談事来た人が出ずカンやなんか大団ことわつてるけど受けとつてもええような気持ちするな。」

「毎月きちんと組合費を、お世話になったからというのではなしに出すのは大事やと思う。」

「世間一般でも組合費やというか組織費が低くなる。特に若い人の組織費は低いで。」

「労働争議自体が少のうなつて新組織んでても面白くないわ。」

「制度要求がほとんどやし、ボス交というかナショナルセンター中心で現場の関わりがなくなってきた。松下なんか組合の要員長が重要になつてるし。」

世すきしていうとか、個人商店主、商店人の発想が強いと思う。皆なで何かをするというよりは、ワシはワシでするといふ気持ちの方が強いようや。

「たしかに高いトヤに住んでる人とアスカンしてる人とは共通の利害意識は生まれにくい。」

「賃上げいうのはわかりやすいけど、飯場改善とか仕事よこせとかになるとだんだんわかりにくいくというか、目にはなかなか見えにくくなるように思う。」

「しかし着脱なんかの討論では金だけとはなく仕事の内容のこととも考えてくわという声も出てくる。」

「いろいろな声があつてまじめなものも難しいと思うわ。運動も柔軟にやっっていく必要があるわけや。」

「いろいろな声があつてまじめなものも難しいと思うわ。運動も柔軟にやっっていく必要があるわけや。」